

「社員も会社もしっかり守る『人事労務管理』セミナー」を開催しました！

去る平成27年1月14日(水)、
「社員も会社もしっかり守る『人事労務管理』セミナー」
(主催:和歌山労働局、共催:和歌山県経営者協会)を、
和歌山労働局6階会議室にて開催、和歌山県内の企業の人事労務管理責任者や経営者、約25名が参加しました。

午前の部では、労働基準部監督課の職員が講師となり、以下の3つのテーマについて、それぞれ講義を行いました。

- ①労働時間法制を取り巻く現状と今後の見通し
(講師:監督課長 杉山 彰浩)
- ②問題を指摘されないための労務管理のポイント
(講師:監督係長 水谷 修悟)
- ③職場で役立つ問題解決手法「ワークショップ」
(講師:働き方・休み方改善コンサルタント 平松 利麻)

いずれも人事労務管理の実務における重要なテーマだけに、参加者は熱心に聴き入り、メモを取る姿が見られました。



午後の部では、参加者が5つのグループに分かれ、あらかじめ労働局が用意した人事労務の現場で良く見られる事例について、午前中に学んだ「ワークショップ」の手法を用い、各グループ内で検討を行いました。

具体的には、労働時間管理がなされておらず、長時間の残業は休日出勤が常態化している会社で、同僚や後輩もパワハラやメンタルヘルス不調が原因で退職してしまい、モチベーションが低下している中堅社員について、

- ①労働基準法に関するもの
- ②労働基準法とは関連しないが、モチベーションや組織風土に影響を与えるもの

という2つの視点ごとに、それぞれ問題点やその原因、具体的な解決方法について全員が意見を出し合い、最終的にグループとして取り組むべき解決方法を優先度の高い順に3つに絞って取りまとめました。

各グループには、労働局職員ファシリテーターとして1名ずつ加わり、ワークショップの進行上の疑問点や不明点について随時アドバイスやサポートを行いました。

3時間という長時間にも関わらず、各グループともほとんど休憩も取らず、活発に議論し、夢中になって課題に取り組む姿が見られました。

最後に、各グループの代表者がそれぞれ、自グループがどのように検討し、どういう結論に至ったかについて、発表を行いました。同じ事例を用いても、グループによって取り上げた問題点や解決方法が異なり、参加者は興味深く聴き入っていました。

参加者はほぼ全員が初対面で、年齢層や所属する企業規模も異なりましたが、すぐに打ち解け、セミナーが終了する頃にはすっかり親しくなっている様子が見られました。人事労務責任者同士の良い交流の場になったようです。

今後も和歌山労働局ではこのようなワークショップの手法を用いたセミナーを開催していく予定です。多くの皆様のご参加をお待ちしています。

